

県士会ニュース



Kanagawa occupational therapist society

Contents

TOPIC

神奈川作業療法研究に投稿しよう！ 10

作品コーナー..... 1	研修会案内..... 4
巻頭言..... 1	各部からの報告..... 5
平成29年度 一般社団法人神奈川県作業療法士会第4回社員総会 報告 .. 2	求人案内..... 11
副会長就任の挨拶..... 3	連載 生活行為向上マネジメント..... 12
理事会報告..... 4	編集後記..... 12



作品コーナー

担当作業療法士：酒井由香里氏（えびな脳神経外科）

作品名 梅雨の思い出

制作者 えびな脳神経外科通所リハビリテーション
ご利用者様 15名

「えびな脳神経外科 通所リハビリテーション」は、今年の4月に開所しました！ご利用者様の協働作業の第一弾として、5月下旬から取り組み始めた超大作は…なんと『折り紙による立体的な紫陽花』です！季節感あるテーマに加え、作業の継続性もあって片手・両手・認知機能に合わせた難易度調整も可能な協働作業となりました。ご利用者様、皆様がコツコツと丁寧に折った紫陽花はかわいらしいハート立体的な花となり、塗り絵による蛙・カタツムリも加わって海老名の田園の傍らによく似合う素敵な壁絵となりました。完成披露では「おおー！」と歓声もあがり努力を振り返りながら達成感を味わって頂き、職員もとても感動しました。ご利用者の皆様・介護職員の皆、超大作をありがとうございました！

巻頭言

これからの神奈川県作業療法士会

日本鋼管病院 鏡内 広之



平成29年5月14日に開催されました第4回社員総会にて代議員の皆さんに理事として信任を頂きました。その後総会を一次休会とし、新理事により最初の理事会が開催されました。三役は理事会の互選により決定されると定款で謳われており、その手続きに従い会長に就任しました。前置きが長くなりましたが、今期会長に就任しました鏡内です。引き続きよろしくお願いいたします。

前述したように、副会長、事務局長も同様に定められた手続きを経て決定されました。結果的に三役は私以外新任となります。また、担当理事に至っても大きく変更しています。これが2017年度神奈川

県作業療法士会の最初の決意です。

昨今、我々作業療法を取り巻く環境の変化を、会員の皆さんはどれだけ肌で感じているのでしょうか。ものすごく実感している人とあまりわからない人と両極端ではないかな、という気がしています。しかし、確実にその環境は変化しており、我々にとってその全てが追い風となっているとは限りません。これは、高齢化に伴う医療費の増大を発端に保健医療制度そのものが形を変えようとしている事が大きな原因ですが、その中では作業療法の明確な効果が求められています。

P2へ続く

国はリハビリテーションの三団体、つまり作業療法、理学療法、言語療法がこれからの保健医療制度の中で重要な役割を担う事を明確に示していますが、この期待をもし裏切ったらどうなるのでしょうか。我々の大切な作業療法はどうなるのでしょうか。

暗い話がしたい訳ではありません。作業療法は各領域において、これまでもその役割を十分に果たして来ています。今我々が求められているのは、この作業療法のノウハウを、新たな制度の中で生かせるアイデアが求められているのです。幸いなことに我々作業療法士はこれまでの養成教育と臨床経験の

中から、アイデアの達人になっていると思っています。よって欲を言うなら新たな制度にこだわらず、作業療法士の職域を増やすアイデアも考えて欲しいと思っています。アイデアの達人だから出来るのです。

神奈川県作業療法士会としては、会員一人一人の作業療法士としての質の向上と地域包括ケアシステムの中でアイデアを構築する目的を前輪として、また会員の情報交換を後輪として、少しスピードを増しながら走っていきたいと思っていますので、皆さんの引き続きのご協力をお願いします。

平成29年度 一般社団法人神奈川県作業療法士会 第4回社員総会 報告

平成 29 年 5 月 14 日 日曜日、横浜市開港記念会館で第 4 回社員総会が開催されました。社員総会は代議員総数 59 名の内、参加者 39 名、委任状 16 通で、第 1 号～4 号議案について賛成多数により可決されました。

今年度は役員改選の年にあたり、第 4 号議案にて審議されました。すでに池田選挙管理委員長よりHPで報告されていますが、理事 17 名、監事 1 名の立候補と監事 1 名の理事推薦による 19 名が承認されました。その後の臨時理事会で会長に錠内広之氏（日本鋼管病院）、副会長に野々垣睦美氏（クラブハウスすてっぷなな）、木村修介氏（合同会社 R U R A アイ・エル訪問看護ステーション）、事務局長に金山桂（介護老人保健施設千の風・川崎）が選ばれました。各理事の担当については表をご覧ください。

第 3 号議案の表彰規約が承認され、長年にわたり神奈川県作業療法士会に所属・貢献された会員の皆さんに感謝



の意を表す機会が出来ました。新体制のもと会員の皆さんとともに作業療法士の活躍の場を広めていける県士会活動に努めていきたいと思っています。今後ともご協力よろしくお願いたします。
(文責：金山桂)

担 当	平成 29 - 30 年度	担 当	平成 29 - 30 年度
会 長	錠 内 広 之	制 度 対 策 部	野 本 義 則
副 会 長	野 々 垣 睦 美	規 約 委 員 会	名 古 屋 和 茂
副 会 長	木 村 修 介	ウ ェ ブ サ イ ト 理 委 員 会	作 田 浩 行
事 務 局 長	金 山 桂	学 会 評 議 委 員 会	村 越 妙 美
財 務 部	吉 本 雅 一	公 益 法 人 化 対 策 委 員 会	澤 口 勇
学 術 部	佐 々 木 秀 一	生 活 行 為 向 上 マ ネ ジ ム ン ト 推 進 委 員 会	木 村 修 介 ※ 兼 任
教 育 部	奥 原 孝 幸	認 知 症 対 策 委 員 会	佐 藤 良 枝
広 報 部	神 保 武 則	地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 推 進 委 員 会	大 郷 和 成
福 利 部	玖 島 弘 規	監 事	田 中 ゆ かり
地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	遠 藤 陵 晃	監 事	糊 澤 直 美
		特 別 顧 問	渡 邊 慎 一

副会長就任の挨拶



クラブハウスすてっぷなな
副会長 野々垣睦美

副会長の野々垣です。横浜市内にある高次脳機能障害者を対象とした職場に勤務し、2007年から神奈川県作業療法士会の理事をしています。この10年の間で会員数も大幅に増加し、県士会に対するニーズの広

がりを感じるとともに、さまざまな課題が表面化している時期に差し掛かっていると思っています。この任期中に少しでも課題解決につながるよう、みなさまの意見をお伺い

しながら活動に取り組んでいきます。

また、2018年は診療報酬と介護報酬のダブル改定に加え、障害者総合支援法の改正、精神障害者の雇用義務化など、社会の動きが大きく変わる年になります。そのなかで職能団体としてどのように行動していくのか、長期的な視点で計画し、行動していくことが求められています。作業療法士が活躍している分野は、急性期から就労や終末期、小児から老年期、教育や行政機関など多岐に渡ります。そのなかで共通していることは、対象となる方が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援していくことだと感じています。私たち作業療法士は目の前の対象者だけでなく、その方々が生活する地域に参画し、より暮らしやすい環境を一緒に考え、行動していけるような職種として存在できればと願っています。

合同会社 RURA アイ・エル 訪問看護ステーション

代表社員 木村 修介

2003年、神奈川県士会に入会して1年目から地域リハビリテーション部の部員として作業療法士の社会貢献について考えてきました。当時を振り返ると研修会のお手伝い程度しか担うことが出来ませんでした。作業療法士3年目の私にはそれについていくことがやっとだったと記憶しています。

担当部署の活動の中には神奈川県理学療法士会との共催研修もあり、その時に知り合った理学療法士の先生方とは今でも仲良くさせていただき、関連職種との連携の大切さも肌身で感じる事が出来ました。

2009年からは地域リハビリテーション部の前理事からバトンを受け取り4期8年、県士会の理事として地域リハビリテーション部、生活行為向上マネジメント推進委員会、地域包括ケアシステム推進委員会を歴任してきました。

県士会活動を通じて大きく(?)成長させていただいたことに感謝をしつつ、2017年5月代議員総会において理事への再任、互選を経て副会長に任命されました。

私のミッションは2つ。

- 1) 職能団体として社会貢献できる組織体制を整備していくこと
- 2) 会員が県士会活動に興味を持てるように透明性のある運営をしていくこと

1) については公益法人化を目指している当士会にとっては非常に重要なミッションとなっております。当士会が行う事業の50パーセント以上は公益事業でなければ公益法人になることはできません。また仮に公益法人が取得できなかった場合においても、県民の健康に寄与するという目的で一般社団法人となっている当士会においては、やはり公益事業を増やしていく必要性が喫緊の課題となっております。



2) について。私は恵まれたことに作業療法士1年目から県士会(当時は栃木県士会)の活動に加えていただき、興味を持つ前に「当然やるべきこと」という認識を持つことが出来ました。しかしながら神奈川県士会のように会員数の多い組織では、一会員の役割を実感することは非常に困難を極めます。どこにアクセスしても県士会の存在を感じられるような、そんな取り組みをしていきたいと思っています。

構える必要はありません。毎日30秒、60秒だけでも作業療法士として県民の健康に寄与することを考えてみてください！それが立派な県士会の活動なのです。

理事会報告

★平成29年(2017年)度第1回理事会議事録

日時：平成29年4月21日(金) 19:10~21:00

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、澤口、佐藤、奥原、神保、吉本、遠藤、野本、名古屋、作田、内山、野々垣、木村、村越 計14名

欠席理事：福留

出席監事：清宮、田中

その他：大郷(制度対策部)、出口(広報部)、金山・山口(事務局 書記)

● I 報告事項

1. 事務局

入会案内と入会申込書を配布。3月末発行のニュースにも入会案内を挿入。平成28年度入会者は276名。各養成校の平成28年度卒業生に対し祝電を送付した。

2. 財務部

28年度期末監査を4月15日(土)に行った。

3. 広報部

(1)28年度内企画報告「地域リハビリテーションケアフォーラム ブース出展」

来場者：91名(スタッフ含む)79名(一般・医療福祉従事者来場者)

(2)29年度企画「相模原市さくら祭り(4月1・2日開催)」

(3)今後の予定7月ヨコハマヒューマンテクノランドブース出展

4. 福利部

新入会員オリエンテーション&歓迎会

6月11日(日) 学術部研修後に横浜リハビリテーション専門学校地下1階にて実施。

5. 地域リハ部

(1)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

1)事例収集協力 訪問リハビリテーション振興財団から依頼。各地域の連絡会代表へ訪問リハビリの事例収集依頼をしている。

2)今年度計画について

①訪問リハビリテーション実務者研修会 開催：平成29年7月8~9日(予定)

②神奈川県訪問リハビリテーション学術大会 開催：平成30年1月21日(予定)

6. 制度対策部

(1)大規模災害時における会員被災状況確認システムについて 神奈川県作業療法士会員の安否および被災状況を確認し、県市区町村・日本作業療法士協会・JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)と連携して、大規模災害時における支援活動に役立てる。

7. ウェブサイト管理委員会

2016年度総括 アクセス件数は年単位で見ると増加したが、H29年に入りアクセス件数が横ばいからやや減少に転じている。来年度はフロントページのスマホへの対応を検討する。

8. 学会評議委員会

第16回神奈川県作業療法学会準備委員会

5月31日までの入会者には送付、以降の入会者には当日に自己申告で会員に渡す。学会後の入会については自己負担とする。

● II 審議事項

1. 事務局

一般社団法人交通事故被害者家族ネットワークからの依頼後援交通事故被害者の家族会で神奈川県内の医療・福祉従事者様向け無料講習会を実施予定。日時：7月29日(土)14:00~場所：横浜市社会福祉センター→承認

以上(文責：山口・金山)

研修会案内

実践セミナー【作業療法士の方におすすめ】

主催：公益社団法人発達協会

日時：2017年8月3日(木)・4日(金)

場所：東京ファッションタウン

URL：<http://www.hattatsu.or.jp>

ものづくりシーティングセミナー

主催：日本ユニバーサルリハビリテーション協会

日時：2017年8月6日(日)

場所：八王子市芸術文化会館いちようホール

URL：<http://universalreha.com/>

第45 三浦半島作業療法研究会

主催：三浦半島作業療法研究会

日時：2017年8月18日(金)

場所：神奈川県立保健福祉大学 大講義室6

URL：<http://miuraot.kenkyukai.jp/event/>

第46回日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG講習会 in 神戸

主催：日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG

日時：2017年8月26日(土)・27日(日)

場所：一般社団法人日本福祉用具評価センター

URL：<http://www.wheelchair-sig.jp>

車椅子設計採寸技術と車椅子メンテナンスセミナー

主催：日本ユニバーサルリハビリテーション協会

日時：2017年8月27日(日)

場所：八王子市芸術文化会館いちようホール

URL：<http://universalreha.com/>

上肢機能の機能解剖とアプローチ

主催：Medical MARKSTAR

日時：2017年9月3日(日)

場所：ウィリング横浜

URL：<https://www.markstar.net/upper-extremity/>

各部からの報告

広報部×福利部 新入会員オリエンテーション&歓迎会に行ってきました！

こんにちは！広報部のさとめぐです。6月11日(日)は毎年恒例となりました、福利部主催の『新入会員オリエンテーション&歓迎会』が横浜リハビリテーション専門学校にて開催されました。今年は午前中に学術部・福利部による研修があり、その後に歓迎会が行われました。充実の1日ですね♪

このイベントは、新入会員の方へ県士会活動の理解と親睦を深める目的がありますが…今回はなんと！1年目65名、2年目以上12名の合計77名の参加がありました。かなり大規模ですね！理事・役員は錠内会長、金山事務局長、財務部吉本理事、教育部奥原理事、広報部神保理事、福利部玖島理事、地域リハ部遠藤理事、Webサイト管理委員会作田理事、規約委員会名古屋理

事、学会評議委員会村越理事、公益法人化対策委員会澤口理事、認知症対策委員会佐藤理事の12名参加がありました。

会の方は錠内会長の挨拶に始まり、県学会や県士会活動について紹介がありました。更に今回はOTの歴史をスライドで振り返る事ができ、徐々に発展している事を感じられました。新入会員の皆さまもこれから一緒に神奈川県を盛り上げていきましょうね(^^)

そして最後に集合写真を撮りました！エネルギーな雰囲気が伝わるのでしょうか？

最後に、企画・運営をしてくださった福利部の皆さま、素敵な会をありがとうございました。

(文責：さとめぐ)



地域リハビリテーション部

『訪問リハ振興財団主催 平成 29 年度 第 8 回 訪問リハ・地域リーダー会議』に参加してみよう

5月19日～20日と日本作業療法士協会、理学療法士協会、言語聴覚士協会の三協会から支援を受けている訪問リハビリテーション振興財団主催の訪問リハ・地域リーダー会議が開催され、神奈川県作業療法士会代表として地域リハ部員2名が参加してきました。

参加者は、各都道府県の作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会から代表者が全国から集まり約150名が参加し、訪問リハビリテーション振興財団の事業報告や今後の展望、今年度の各都道府県で行われる訪問リハビリテーション実務者研修会のテーマについて話し合いがもたれました。

平成30年4月に医療・介護保険制度の同時改正を控え、また、地域においては介護予防・日常生活支援総合事業が本格的に始動する中、訪問リハビリテーションを含む在宅リハビリテーションの将来像が具体化される時期を迎えようとしています。世の中のニーズや社会情勢の変化に対応しながら、より質の高い在宅リハビリテーションを提供していけるように努めていかなければなりません。

神奈川県では、訪問リハビリテーション実務者研修会を始め、訪問リハビリテーションおよび在宅リハビリテーションの研修会に関しては神奈川県作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会で協働し、『神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会』を発足して在宅リハビリテーションに関する研修会の運営、事業を行っています。

神奈川県作業療法士会では、地域リハ部が責任部署として神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の対応をしています。今後も地域リハ部の中で神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の紹介や事業内容を説明していければと思います。

『第2回 神奈川県訪問リハビリテーション学術集会』開催決定！

平成30年1月21日 日曜日 横浜市社会福祉センターにて第2回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会開催が決定しました。第1回目は平成28年1月に川崎市産業振興会館で開催され、2年ぶりの開催となりますので第2回訪問リハビリテーション学術集会も充実した内容で開催できるように準備をしています。今後、更新される情報に期待していただければと思います。詳細が決まりましたら広報誌またはWEBの方で紹介できればと思っています。



『地域リハ NEWS』 県士会ブログ更新していきます！

地域リハビリテーション部では神奈川県作業療法士会ホームページ内で「地域リハ NEWS」という県士会ブログを行っています。

神奈川県作業療法士会地域リハ部主催の研修会はもちろんですが、県主催や各地域で行われていることなど地域リハ部が訪問して事業や関連していることは随時更新し、会員皆様に最新の情報を提供できればと思います。一度、県士会ホームページ内にある「地域リハ NEWS」を見ていただければと思います。



地域リハビリテーション部

地域ケア会議や介護予防事業に参加している方いませんか

各市町村で総合事業に取り組むが本格化してきています。会員の皆様も地域事業に関わる機会が増えてきますので会員の皆様からも情報を得ながら県士会の事業も進めていければと考えています。ぜひ、会員皆様からも作業療法士が関わっている地域事業がありましたら情報提供をいただければと思います。地域リハ部だけでなく県士会全体で情報共有していければと思いますのでご協力の方をよろしく申し上げます。

ご意見や情報がありましたら下記のメールアドレスまでご連絡をいただければと思います。

【問い合わせ】 地域リハビリテーション部

Eメール：chiikireha@kana-ot.jp

訂正 2017年5月号 P8 ページ地域リハ部記事

誤『地域リハビリテーション三団体合同研修会』
正『地域包括ケアシステム三士会合同研修会』

地域包括ケアシステム推進委員会

作業療法士の強みを活かした介護予防・健康増進活動に取りくんでみませんか？

昨年の臨時総会で新しく新設された「地域包括ケアシステム推進委員会」。今年度より担当理事になりました大郷和成です。新しい委員会なので何をやるの？と思われる会員の方も多いかと思います。今回は誌面をお借りして、地域包括ケアシステム推進委員会の活動と今度の展望についてお話しさせていただきます。

さて、近年、「地域包括ケアシステム」という言葉が頻りに飛び交うようになりました。地域包括ケアシステムとは、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように地域がサポートし合う社会のシステムのことです。医療・介護・予防・生活支援などが一体的に提供されるシステムの構築を目指し、生活支援の専門家でもある作業療法士がどんどん関わっていこう！というのが当委員会の考えです。地域包括ケアシステムにおいては取り組むべき課題が多岐に渡っています。どれも重要課題ですが、当委員会は今年度、一般介護予防事業のひとつである地域リハビリテーション活動支援事業の中心に作業療法士による地域支援活動を展開していきます。

具体的にどんな活動をするの？と気になる方もいらっ

しやるでしょう。実は、昨年度より神奈川県作業療法士会と横浜市が連携し、横浜市地域リハビリテーション活動支援事業において、地域ケア会議や介護予防活動へ作業療法士を派遣する取り組みをスタートさせています。介護予防活動では、横浜市が進めている住民主体の予防活動グループである「元気づくりステーション」にて支援を行います。支援内容は主に、①生きがいの探索、②生活行為の把握、③生活行為のアセスメント、④生活行為向上プランの提示を行っています。お気づきの方もいらっしゃると思いますが、普段病院や施設で実践している作業療法のアプローチそのものです。作業療法士が持つ強みを活かすことで、今日からでも介護予防活動に取り組むことができます。

昨年度は36回の派遣実績があり、今年度はさらに派遣回数が増えることが予想されます。会員皆さまの知恵と力を貸していただけると心強いです。当委員会の活動に興味がある方はぜひご連絡くださいませ！



地域包括ケアシステム推進委員会
担当理事 大郷和成

Mail：info@laulea-linoa.com

福利部

研修会情報～職場見学・体験会 開催決定～

職場見学会・体験会を今年も9月に開催を予定しています。今回は、障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）『NEXT STAGE』を開設された、加藤祐先生にお願いさせて頂きました。『NEXT STAGE』では精神障害を持つ方に対して、作業活動とその他運動や教育的プログラムを提供しながら、体調が安定し就労への準備性を高めて次のステップに無理なく進められるよう支援を行っております。作業活動はペグなどのリハビリ用品やカッティングシール関連の製品製造とそれに関

連するパソコン業務が主な内容となります。貴重な機会ですので多くの方の見学をお待ちしております。詳細は県士会HPに随時UPしていきますのでご参照下さい。
 日時：2017年9月11日（月）13：30～15：00
 場所：障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）『NEXT STAGE』
 住所：横浜市西区浅間町2丁目95-4
 ハイツ・ラ・ビスタ 202号室



平成29年度 日本作業療法士協会 特別表彰受賞 報告



湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科専任教授の鶴見隆彦氏が、平成29年度日本作業療法士協会「特別表彰」を受賞しました！

特別表彰は日本作業療法士協会が指定する領域のいずれかにおいて、「顕著な功績または規範として推薦に値する業績があること」と、その業績をもって「本会の発展に著しく寄与した」に当たることが要件となっています。

鶴見氏は、法務省保護観察所の社会復帰調整官など触法精神障害者をはじめとする触法者等に対する作業療法士としての職務、活動において先駆的であり、その功績が審査基準の「行

政や関連団体における参画と協業」において、「本会の発展に著しく寄与する顕著な功績」として認められ、特別表彰が授与されました。今後も神奈川県ならびに日本の作業療法の発展にますます寄与されていくことと存じます。

鶴見隆彦先生のご受賞を心よりお祝い申し上げます。

（文責：福利部 表彰班 畠中・玖島）



教育部

県士会ウェブサイトから質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今号の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、今年度の教育部主催のOT協会生涯教育制度関連の研修会についてお知らせします。OT協会、県士会主催事業には両方の正会員でないと参加できません。先輩会員は、OT協会、県士会への入会と各種事業への参加をおすすめください。

また、本原稿提出の段階で未定な研修会が多くありますが、例年通り以下の研修会を開催します。開催情報は県士会ニュース、県士会ウェブサイトに掲載しますのでご注意ください。

- 1. 現職者共通研修**：生涯教育制度の必須基礎研修で、認定作業療法士や専門作業療法士になるには最初に受講が必要です。全10テーマで、テーマ毎（90分）に受講します。
※今号チラシに詳細が同封されています。ご確認の上お申し込みください。
- 2. 現職者選択研修**：生涯教育制度の必須基礎研修で、必須のMTDLP（生活行為向上マネジメント）と領域別（身体・

老年期・精神・発達の各障害領域のうち1領域を選択、選択領域は業務の領域とは関係ありません）の2テーマを受講します。受講修了には1テーマ：90分×4コマの一括受講が必要ですが、コマ単位での部分受講も可能です（ただし受講修了したとは認められません）。なお、※今年度は企画検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。

- 3. 事例報告登録制度に関する研修会**：事例報告登録は認定作業療法士の申請に必須です。現職者共通研修の「事例報告と事例研究」と組み合わせて、県士会独自の研修会として開催します。

〈問合せ先〉教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
 046-828-2738（直）、kyoiku@kana-ot.jp
 ご不明の点はこちらでご連絡ください。
 県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

神奈川作業療法研究に投稿しよう！

編集委員長 白濱 勲二

学会発表などを行う際は、文献検索データベースやインターネットを使用して、文献を検索し、レビューする事があると思います。また、臨床での疑問を解くために専門誌を読むことがあるでしょう。つまり、「読み手」として、学術誌に日常的にかかわっていても、学術誌に投稿する「書き手」としての立場を経験する人は、まだ少ないのではないのでしょうか。その、書き手としての第1歩を神奈川作業療法研究で、体験してみませんか？

本雑誌は、今年度から医学中央雑誌データベース、メディカルオンラインにも収載され、これまでの県士会員だけが手にする雑誌ではなく、より多くの臨床家、研究者、教育者などにも公開されることになりました。また、本学術誌はISSN（国際標準逐次刊行物番号）も取得しているため国立国会図書館に登録された「学術誌」として認められています。

本学術誌の種別は、研究論文だけでなく、実践報告、総説、短報などがあり、特色ある作業療法実践やパイロットスタディなどの内容でも投稿可能です。日々の臨床の成果を振り返り、まとめて、公表するチャンスだと考えてください。さらに、学術部では、会員の本誌への投稿を援助する目的で、「論文執筆支援制度」を設置しています。この制度は、本誌にぜひ投稿してみたいという会員に対して、必要に応じて助言及び指導を行ないます。

職場で相談できる人がいない場合や卒業した大学の教員に相談するのが、気が引ける場合など、気持ちはあるけど、相談相手がいない場合は、この制度を活用してください。

各学術団体が開催する学会で発表する場合や発行している学術雑誌に論文を公表する場合は、研究倫理審査をうけて、承認されることが一般的な手続きとなってきました。神奈川県作業療法県学会でも倫理的問題は、査読の際に重要視されつつあります。倫理審査は、難しそうな手続きですが、みんなで学んでいきましょう。ご相談ください。

現在、18名の査読委員、1名の編集委員で査読・編集作業を行っています。投稿された論文が査読を重ねて、より良い内容になるために、「教育的査読」を心がけていますので、怖がらずにチャレンジしてください。

論文投稿の際は、①論文、②査読用論文（所属、氏名を削除）、③手書きで署名した投稿承諾書および著作権譲渡承諾書、④ページ数、文字数などを確認・記入したチェックリストをPDFにして、編集委員長あてにメール添付で送信してください。必ず、投稿する前に共著者に原稿を確認してもらい、論文投稿の同意、その内容に対する責任を承諾する署名をもらってください。

ぜひ、「読み手」から「書き手」に進化しましょう！

求人案内

コトノハ訪問看護リハビリステーション

療法士・看護師が中心になって立ち上げた訪問看護ステーションですので、利用者様中心のサービスを行なうことができる環境にあります。また「かなえるサポート」という保険外サービス・無償で行う地域貢献事業を行っています。馴染みの店での外食に挑戦、昔行った近所の公園で桜やお花がみたい等の他では出来ないチャレンジを利用者様と行うことができます。

募集人員：2名

事業所概要：三浦半島（横須賀市内・三浦市内）を、軽自動車を中心に使用して訪問業務をおこなっています。

看護師5名、理学療法士、5名、作業療法士3名、言語聴覚士1名のチームでサービスを提供しています。

募集条件：臨床経験3年以上の方

待遇：常勤・非常勤

給与：【常勤】基本給30万円 年収460～600万円 ※賞与年2回 ※昇給あり 通勤手当全額支給

【準常勤】基本給25万円 週4日勤務 ※短時間勤務等応相談

【非常勤】時給1900～2000円常勤

勤務時間：月～金 9：30～17：30 ※準常勤・非常勤の場合は希望に応じて柔軟に調整致します。

休日休暇：土・日・祝日、有給休暇、年末年始、特別休暇等 ※年間休日123日。ワークライフバランスがとりやすい職場です。

交通：京浜急行久里浜線 北久里浜駅 徒歩5分

応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真添付）持参 ※まずは、お気軽にお問合せ下さい

問い合わせ先 〒239-0807 神奈川県根岸町3-7-9 プランナーズビル2階 TEL：046-884-8071 FAX：046-884-8072
Eメール：morishita@kotonoha-kango.com 問い合わせ先：採用担当 森下・齋藤



社会福祉法人 光友会 藤沢市太陽の家

募集人員：常勤又は非常勤1名

募集内容：重症心身障害児等の作業療法

応募資格：作業療法士免許を有する方

給与：常勤 昇給年1回、賞与年2回
非常勤 1700円～2000円/時（経験等）

福利厚生：各種社保完備、退職金制度あり

勤務時間：月～金（8：30～17：30）
※非常勤は、日数・時間等は相談に応じます

休日：土・日・祝日は休み
4週8休・有給休暇・特別休暇等あり

応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）持参
又は、下記宛に郵送してください

※まずは、お気軽にお問合せください

問い合わせ先

〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸 6-6-12

TEL：0466-33-1411

FAX：0466-34-4342

Email：yamanoue@lfa.jp

児童発達支援センター しいの実学園 山野上



生活行為向上マネジメント

第7回生活行為向上マネジメント全国推進会議

平成29年6月10日・11日に東京の日本橋カンファレンスセンターで行なわれた生活行為向上マネジメント全国推進会議に出席してきました。

この会議は47都道府県士会の生活行為向上マネジメント推進委員や推進に関わるOTが集まり、OT協会の方針や各部・班の報告を受けつつ、都道府県士会での情報共有を行なう場となっています。平成29年度でOT協会の生活行為向上マネジメント推進プロジェクトは終了となる為今回が最後の会議となり、今後は県士会での活動へと移行していきます。

今回の会議では、当士会でも行なっていますが研修としては示されていなかった事例報告の為に研修内容に関して提示がありました。OT協会の事例登録システムに登録した方もいらっしゃると思いますが、その審査を重ねた中での傾向分析や合格の為にポイントなどが解説されています。

協会ホームページの事例報告登録ページからダウンロードできる『事例報告書作成の手引き』の改訂も進められているそうです。

当士会でもこの内容をふまえて研修内容を充実させていきますので、事例登録を検討されている方は研修会へご参加下さい。

また、昨年度の研修終了者数や指導者数なども提示されました。

OT協会が目標としている基礎研修60% 実践者研修30% 指導者5%に対し、神奈

川県は昨年度130名が研修会を受講し41名が事例発表又は事例報告まで修了しましたが目標値にはまだまだ届きません。

当士会生活行為向上マネジメント推進委員会でも、今年度も研修会・事例検討会・事例登録の為に研修会を行なっています。

講習会情報は順次県士会ウェブサイトの講習会情報にアップしていきますので、日程を確認の上で積極的な参加をよろしくお願い申し上げます。

(文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 渡邊隼人(さがみりハビリテーション病院))



編集後記

冷えたビールが一段とおいしく感じる季節になりましたね。夏は海やプール、花火大会と野外でのイベントも多いですが、みなさんは夏休みの予定はお済みでしょうか。私は昨年できなかったダイビングにリベンジしたいと思っています。これからも猛暑が続きそうですが、体には気を付けて夏を乗り越えましょう！9月は東京で日本作業療法学会が開かれます。みなさまぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。(ゆず)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース 〈186号〉2017年8月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之
 編集責任者 神保 武則
 編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)
 山岡 洸(新戸塚病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院)
 安田 優子(横浜旭中央総合病院) / 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院)
 井部 賢吾(北里大学東病院) / 松井洋鷹(淵野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所
 事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号
 TEL/FAX : 045-663-5997
 月火水木金 10:00~15:00
 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<http://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>
 Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

